



共謀罪法案が自公で閣議決定されたけど・・・

TOCCに共謀罪？

TOCC条約(国際組織犯罪防止条約)は「組織的な犯罪集団」つまりマフィア等による薬物や銃の不正取引、人身取引、密入国などを国際協力力で取締まる為、二〇〇〇年に国連総会で採択された。

「テロを防止しTOCC条約を批准するには共謀罪が必要」と自公政府は云う。しかし、それはおかしい。

テロ対策には

- 次のようなテロ対策の十三本の条約を日本は既に批准。即ち、
- ハイジャック対策の「ハーグ条約」
- 「爆弾テロ防止条約」
- 「テロリズム資金供与防止条約」
- 「核テロリズム防止条約」その他。

こうしたテロ対策条

約があるから、テロはTOCC条約から除外されている。TOCC批准に共謀罪は不要。そもそも一人でやるテロもあるから、共謀罪はテロ防止にならない。では何の為？

現行刑法は「犯罪を行った時に罰する」。

共謀罪は「共謀して準備を始めたら罰する」。

「何かやる前」に取締まるのだから、何をしながらも逮捕できる。警察が「これだっ」と思った「話」だけで十分。これは戦前の治安維持法と同じ。戦争中の横浜事件では「改造」という雑誌の関係者の宴会を「共産党の再建を策した」と、特高が治安維持法で逮捕。調べても何もないので拷問して無理に喋らせた。

皆さんはどう思われますか？



嵐山から見た相模湖

神奈川県相模原市緑区
二〇一七年三月

嵐山は道志山塊、小仏山脈の中間にある。その為、間の山(あいのやま)が本来の山の名前。しかし、山容と落葉広葉樹林などの景観が京都の嵐山に似ているとして、いつのころからか、嵐山と呼ばれるようになったそう

だ。相模ダムから南東に僅か三五〇mの所にある、標高は四〇六m。そう高い山ではない。しかし、険しい山で、山頂までアップダウンが繰り返される。

山頂から眼下に相模湖、相模原市緑区、即ち、旧相模湖町の街並みが見える。しかし、谷間への斜面が急な為、山頂から相模ダムは見えない。

晴れていれば富士山の山頂が山並みの彼方に見える筈。残念ながら、この日は雲が低かった。

